

No. 1630

ケイリンも勝てず

——世界選手権 自転車競技大会——

1990年世界選手権自転車大会が群馬県前橋市に新設された「グリーンドーム前橋」でトラック競技、栃木県宇都宮市でロード競技が8月20日から9月2日まで行われました。

この世界大会は第1回オリンピック大会より3年早い1893年アメリカで初めて開催されてから、今年で87回目を迎え日本では勿論アジアで初めての大会です。

世界46ヶ国から1000人を超すプロ、アマ選手が世界一の座をかけて戦います。

競技種目はプロ5種目、アマ男子7、女子2種目の合計14種目。

男子アマ二人乗りタンデム・スプリントで日本の稲村、斉藤の高校生コンビが二週間の促成チームとは思えない快調さで決勝に進出、イタリアに負けたもののアマ史上初の銀メダルを獲得し場内を沸かせました。

日本期待の「プロ・ケイリン」は中野浩一選手が予選落ち、俵信之選手一人が決勝に出場して外国選手と対決。

タテ1列の並びで順番は抽選、俵選手は2番手。

バイクの誘導でスタート。

始めは好位につけて頑張る俵選手。しかし中盤から外人パワーに負けたのか、外に回され先行できず苦戦の様子。

打鐘のあと後方から必死に追い上げるも、欧州グループの先行力に及ばず4着に終わりました。

10年前から正式種目となった日本生まれのケイリンも今や世界的となり、簡単には日の丸を揚げさせてはくれない競技になったようです。